

明治元年十二月二十七日より明治二年正月二日まで

P8310809right

山本より道中人馬払立替金、大助へ托し返し来る、山葵(わさび)少許(すこしばかり)贈らる
廿七日午 晴

鵜飼来る、平山省来る、旅亭より稲汁糕設(準備)あり、鵜飼も相伴す、山梨へ海苔を分与す
太郎大助同道、昨達の短冊調所へ持来、鶏街へ行き結髪を頼む、姑へ歳暮品二方を
贈る椎菌を分贈す、新調の障子を糊す一杯を設らる、大助来り配す

廿八日未 陰漸晴

安倍町松井を問い息に面し(主人は不在也)、

□花□を尋ね石野を問う、挙家不在也、鶏街より

大助へ托し海苔乾蕪を贈り越す

廿九日申 晴

P8310809left)

鶏街より菜漬を贈らる、太郎を携へて競□亭を尋□再近辺出行、福茶を煎じ、

□麴を喫す

明治二己巳年

正月

朔日酉 晴

雑煮糕を喫す、太郎大助ら共に鶏街へ行く一杯を喫せらる

二日戌 雨終日夜暴風雨徹曉止

□印は解読未了の文字です。私の実力ではすぐ解読できません。